

広大な調整池やその周辺には、淡水性の生態系が既に形成されている

- 1 諫早湾干拓調整池は九州最大の淡水湖（全国12位の面積）。
- 2 平成9年の堤防締切り以降、調整池や自然干陸地（600ha）ではヨシ群落の繁茂や渡り鳥などの飛来、淡水魚の生息、水生生物や昆虫など、700種以上の生物種で構成される新しい生態系が形成。
- 3 鳥獣保護区に指定。（H20.10.31告示）

図一 多様な環境に育まれた多くの生き物たち

